

議会 I C T 化推進特別委員会先進議会調査報告

【令和6年11月13日秋田県湯沢市・14日秋田県横手市】

議会 I C T 化推進特別委員会

秋田県湯沢市（11月13日）

▼タブレット端末を活用したオンライン委員会（会議）及び議会における I C T の活用

湯沢市議会では、災害発生や感染症対策に対応できるように、早い時期からオンライン会議の導入を目指してきた。現在は、常任委員会の会議のオンラインによる出席も可能となっている。

岩沼市議会でも、災害時や感染症対策における情報発信、参集不可能な状況（介護・子の看護などで参加できない場合等）に備え、オンライン会議を実施可能な体制構築に向け、丁寧な協議と研修などを行いながら進めていくべきと考ええる。

秋田県横手市（11月14日）

▼オンライン委員会（条例及び規制改正の経緯）

横手市議会では、プロジェクトチームを作り、議会の I C T 化に取り組んできた。議員全員に一定レベルのタブレット端末の操作技量が求められる中で、操作に不安



秋田県横手市で調査する委員

のある議員に対し、詳細なマニュアルの作成や、プロジェクトチームが定期的な練習会を行いながらフォロー体制を取ってきた。条例制定を進めたが、オンライン会議等の開催はこれからということ、今後、実績を重ねながら課題を解決して、より良い運用を行なっていくとのことであった。

各常任委員会 市民等との意見交換会報告

- ・総務常任委員会 【いわぬま女性防災リーダーの会】
- ・教育民生常任委員会 【岩沼市心身障害児者親の会】
- ・建設産経常任委員会 【名取土地改良区】

総務常任委員会

▼いわぬま女性防災リーダーの会（11月1日）

女性の視点から、岩沼市の防災の取り組みについて、女性防災士を中心としたメンバーで日頃から活動している「いわぬま女性防災リーダーの会」5名の会員の皆さまと、毎月行っている定例会の後に時間を設けていただき、1時間程度意見交換会を行った。

まず、会長が「いわぬま女性防災リーダーの会」の活動を紹介。2015年に発足し、これまで市民参加型として講師を迎え、さまざまな講演を開催。出前講座やベトナム人技能実習生との交流会なども実施。

〈市への要望として〉

・避難所運営や備蓄の内容などに女性の視点が重要であることから、危機管理課に女性の配置が必要である。

・避難所に対して、女性専用のトイレ、更衣室、授乳室の設置、洗濯物を干す場所の配慮など、女性の視点を反映させた避難

- ・所運営が必要である。
- ・段ボールベットを確保してほしい。
- ・防災士として何をしたいのかよく分からない。町内会でも防災士の活用ができていないので、具体的に示してほしい。
- ・個人情報壁があり、個別避難情報が生かされない。
- ・市の防災訓練では、備蓄の確認やパーティションを広げるなど、いつも同じなので内容を工夫してほしい。
- ・高齢化しており、若い世代の参加が必要である。など貴重なご意見を伺うことができた。
- ・いただいたご意見は、今後、議会一般質問で取り上げるなどして、市民の声を行政に届けていきたい。また、委員会でも他の自治体の事例なども参考にしながら、研究を重ねていく必要がある。
- ・今後委員会としての見識を広め、市民の声を行政に届けていきたいと思う。

教育民生常任委員会

▼岩沼市心身障害児者親の会（10月10日）

2回目の開催となる今回は、岩沼市心身障害児者親の会の集まりの後に時間を設けていただき、当日参加された15名の会員の皆さまと意見交換を行った。

＜市への要望として＞

①岩沼市の公共交通機関は、Ａーバスやデマンドタクシーなど複数の選択肢があるが、障害者は携帯電話を持っていない人も多く、乗車予約ができない。そのため、市民バスが主な移動手段となるが、路線の再編により運行に合わせた勤務時間の変更を余儀なく



意見交換を行う総務常任委員

されている現状がある。

②いわぬまひつじ村では、市の土地を借りて障害者などの就労支援を行っているが、トイレなどは簡易的な設備となっている。そこで、障害者用のトイレの整備や着替えるスペースを確保して、プライバシーを守る環境の整備をしてほしい。

③ショートステイでは、老障介護状態のため、利用を申請すると同性介護の必要があり、人手が足りないことと断られることがある、現状では自立度の低い子を預けることが難しい。

意見交換会では、一緒に生活を送っているからこそ分かる課題や問題点、悩みなど、さまざまな視点で話を伺うことができた。いただいたご意見の中には、岩沼市だけでは解決することが難しく、近隣自治体との広域的な連携の有効性の議論や、民間を巻き込んだの協議などが必要な内容もある。

そこで、各所への橋渡し役も担いながら、今後も委員会として、市民の声を届けていきたいと思う。

建設産経常任委員会

▼名取土地改良区（10月25日）

名取土地改良区で、土地改良区役員と、名取市議会議員有志6名と、当委員会5名で研修と意見交換会を行った。

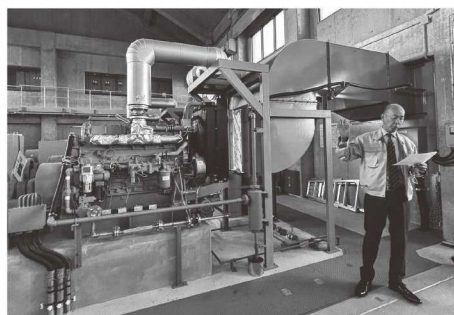
研修では、土地改良区の役割や、これまで整備してきた農地、農業用の用排水路施設などを知ることができた。さらに震災後に新たに整備された排水機場の現地視察などを行った。整備された施設には今後、莫大な維持・管理費が必要になっていき、これが大きな課題となっていることが分かった。今後にも必要



意見交換を行う教育民生常任委員

施設の維持・管理のためには、土地改良区と関係機関との連携や協力が必要である。

名取土地改良区のエリアは岩沼市と名取市となっているため、今後も土地改良区と岩沼市議会・名取市議会とで研修や意見交換会を継続して行っていく必要性がある。



現地視察を行う建設産経常任委員

